



2021年3月22日

各 位

本社所在地 東京都新宿区北新宿二丁目 21 番 1 号  
 会 社 名 RIZAP グループ株式会社  
 代 表 者 代表取締役社長 瀬 戸 健  
 コード番号 2928 札幌証券取引所アンビシャス  
 問合せ先 取締役 鎌 谷 賢 之  
 電話番号 03-5337-1337  
 U R L <https://www.rizapgroup.com/>

### 業績予想に関するお知らせ

当社は、2021年2月10日に公表いたしました、「2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)」において、2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期業績予想を未定としておりましたが、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	172,000	2,000	200	100	50	0.09
増減額(B-A)	—	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	197,367	△824	△3,256	△5,491	△6,046	△10.84

※前期実績については、以下の理由により、2020年6月10日に公表した「2020年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」に記載の値と異なっております。

- ・売却等により非継続事業が増加したため

(2021年3月期に非継続となった会社：株式会社エス・ワイ・エス、北斗印刷株式会社)

#### 2. 業績予想の公表の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期や消費者の購買意欲回復時期が見通せない状況であったことから「未定」としておりましたが、先般の緊急事態宣言の全国的な解除を受けて、現時点において入手可能な情報および最近の業績動向を踏まえ、連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

2021年3月期は、2020年4月7日から5月25日の緊急事態宣言発出期間中に、当社グループ全店舗数の約7割にあたる店舗の臨時休業・営業時間の短縮を行い、その結果、RIZAP ボディメイクの5月の売上高が前年比15%に落ち込むなど新型コロナウイルス感染拡大の影響がありましたが、店舗の営業を再開した2020年6月以降は、RIZAP や MRK ホールディングス株式会社の「マルコ」をはじめとする多くのグループ傘下店舗で順調に客足が戻りました。さらに、株式会社イデアインターナショナルや株式会社アンティローザなどのECに注力している企業が売上を伸ばしたことに加え、株式会社ワンダーコーポレーションや創建ホームズ株式会社などが「巣ごもり」や「リモートワークの普及」などの新しい需要に適応し堅調に推移したことにより、第2四半期以降売上が順調に回復いたしました。

一方で、2021年1月7日に2回目となる緊急事態宣言が発出され、対象地域における当社グループ傘下店舗の一部では再び営業時間の短縮を行いました。その結果、2021年3月期の売上収益は前期を下回る見込みです。

利益面につきましては、2019年3月期から続けてきた構造改革により収益構造が改善したことや、第2四半期以降売上が回復する中でも「新型コロナ危機対応」として前期末から行っているグループ全体のコスト削減を継続したこと、さらに、グループ機能統合プロジェクト「ONE RIZAP」の方針の下、コスト最適化、グループ企業間での人材の流動化、新たな非対面事業の創出を進めたことが功を奏し、月次の営業利益は2020年8月以降、月次の親会社の所有者に帰属する利益は2020年7月以降、毎月前年同月を上回り推移いたしました。その結果、第2四半期連結会計期間、第3四半期連結会計期間は、営業利益および親会社の所有者に帰属する四半期利益ともに、過去3年間で最高益を計上するに至りました。

一方で、第4四半期連結会計期間の営業利益は、2回目となる緊急事態宣言の影響や、新型コロナウイルス感染拡大終息後を見据えた新たな収益源となる事業開発のためのDX（デジタルトランスフォーメーション）等の先行投資、店舗統廃合に伴う一時的なコストの影響により、第3四半期連結累計期間に比べて減少傾向にあります。しかし、月次の営業利益および親会社の所有者に帰属する利益は、2回目となる緊急事態宣言発出後の2021年1月、2月も前年同月を上回り推移しており、通期では全ての利益において前期を上回る見込みです。

以上の結果、2021年3月期の連結業績予想は、売上収益172,000百万円、営業利益2,000百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益50百万円を予想しております。

なお、上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断しており、実際の業績等は様々な要因によって本業績予想から大きく乖離する可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響をお知らせいたします。

以 上